



今回は市政に対する一般質問を傍聴しましたが、議員の質問・再質問に対し、行政は相変わらず用意した答弁書・再答弁書を事務的に読み上

「議会にあたらしい風を！」 3月定例議会を傍聴して

げる進化に乏しい答弁でした。

それぞれの答弁書は行政が事前に提出を求めた質問書・再質問書を基に作り、その内容は議員側に連絡するのが慣例であり、まさに手の内を知りつくした結論ありきの議論に疑問を抱いたのは私だけでしょうか。

このような慣れ合い体質の議会は一日も早く改革し、緊張感のある議会運営の実現を切望します。

力石秀夫さん（吹上富士見在住）

表紙によせて



鴻巣ひな人形の歴史は、約380年前の江戸時代初期、農閑期の副業として人形生産に取り組んだのが始まりと言われています。

動議

平成21年度鴻巣市一般会計予算の組替動議
(仮称) 歴史民俗資料館取得事業155,000,000円

[否決]

1. 施政方針並びに予算(案)の説明及び市民環境常任委員会での説明でも、吉見屋人形店より土地譲渡の希望があった事について説明がなされていない。
2. 市民環境常任委員会での質疑の中で「土地について譲渡の希望があった。議会の決議を経た後に正式に決するので、その後に購入する。」との答弁があった。このことは地方自治法第96条1項9号、負担付きの寄附または贈与を受けることに該当し、法に反することと言わざるを得ない。
3. 寄附の申し入れの中に店舗を含む6棟の建物、購入を予定している3筆の土地には根抵当権が設定されている。

以上の3点の理由から、平成21年度鴻巣市一般会計予算を一括して採択することに私たちは問題があると判断し、(仮称)歴史民俗資料館取得事業は一般会計予算から削除し、切り離して扱うよう求める。

意見書

雇用と失業者対策の抜本的拡充を求める意見書

[可決]

大企業が派遣労働者や期間労働者の大量解雇を進めれば進めるほど、社会不安は増大し、さらに下請けの中小企業に未曾有の影響を与え、日本経済は景気回復が不能な状態に追い込まれる。大企業の内部留保は多額であり、雇用を守る体力は十分にあることから、この間積み立てた内部留保の一部を活用できるならば、40万人の雇用を維持することは十分可能である。

これ以上の大量解雇を許さないため、現行法に基づいて政府が大企業への強力な指導・監督の責任を果たすことを求める。

政府においては以下の施策を緊急に講じることを強く要望する。

記

1. 雇用保険の特別会計の「積立金」を活用し、失業者・求職者への生活補助制度、住宅援助制度をつくり、職業訓練への支援を抜本的に拡充すること。
2. 離職者が雇用保険に未加入である場合は、「遡及加入」の手続きを取るよう企業に対し強く指導すること。
3. 雇用保険の失業給付を改善し、受給資格を6カ月にもどし給付期間を延長すること。
4. 非正規労働者等の居住を確保するため雇用促進住宅を積極的に活用すること。

編集後記

「定額給付金」はもう皆さんの手元に届きましたか。百年に一度の経済危機といわれる中、唯一の明るい話題となりました。本市で支給される総額18億円。市内の景気浮揚に活躍してくれることを大いに期待したいものです。

この春、北鴻巣駅西口・吹上駅北口が整備され生まれ変わりました。鴻巣駅東口には映画館もスタートします。街は花があふれる季節。健康のために歩くことが何よりだそうです。お散歩がてら是非出かけてみてください。

議会だより編集委員も2年間の任期を終え、次号からは新メンバーでお届けします。さらに読みやすい「議会だより」をめざします。これからも宜しくお願いいたします。

編集委員会

委員	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員
斎藤	菅野	大塚	岡崎	金澤	野田	潮田	幸子
忠司	博子	敏子	佳之	高良	孝太郎	恵司	子